

## 令和3年度 社会福祉法人一宮市社会福祉協議会事業報告書

令和3年3月17日に理事会、同年3月25日に評議員会を開催し、令和3年度事業計画及び予算案が審議可決された。これに基づき、社会福祉事業の効率的運営を図り、組織活動を推進し地域福祉の向上に資するため、次の諸事業を行った。

### < 社会福祉事業 >

1. 法人運営事業
  - (1) 役員数 15名
    - 理事 11名
    - 監事 4名
  - (2) 評議員数 16名
  - (3) 役員会等の開催
    - ①理事会 開催回数 4回
    - ②評議員会 開催回数 3回
    - ③監事会 開催回数 2回
    - ④評議員選任・解任委員会 開催回数 1回
  
2. 調査・研究事業 地域のつながりの大切さを学ぶため、支会長と連区民生児童委員会会長を対象に研修会を開催した。(写真①)
  
3. 企画・広報事業
  - (1) 市民福祉基金等への寄付者を顕彰  
被顕彰者数 12件
  - (2) ウェブサイトによる情報提供  
分かりやすい情報提供並びに、ブログによりいち早く最新の情報を提供した。(ボランティア情報等)
  
4. ふれあいのまちづくり推進事業 会員会費等を財源として、社会福祉事業を実施し、支会組織の充実強化並びに地域福祉活動を推進した。
  - (1) 地域福祉活動推進事業
    - ①支会活動費
      - ・支会活動交付金 47,905,209円  
(会費総額の90%)
      - ・支会活動助成金 43,600円  
(見守りネットワーク事業)
    - ②地域活動振興費
      - ・支会活動交付金 5,322,801円  
(会費総額の10%)

- ・共同募金実績割 2, 5 5 0, 0 0 0 円  
(前年度共同募金実績額の7%)

③災害時要援護者支援活動事業

災害時における、ひとり暮らし高齢者・障害者など災害時要援護者の支援体制整備、平時からの見守り体制整備等を行った。

- ・地域支援者（町会長・民生児童委員）による災害時要援護者支援制度の登録者の登録内容の確認
- ・避難所や避難経路の確認
- ・災害時要援護者支援制度の周知や新規登録の促進  
貴船・神山・大志・富士・北方・朝日・木曾川町の7支会で実施

登録内容変更192名（対象者数 779名）

新規登録17名 抹消14名

(2) 外出支援事業

- ・車椅子の貸出し 411回  
(車いすドクターズにより年1回点検)

5. ボランティアセンター活動事業

地域住民の社会（貢献）に関する理解と関心を深め、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を密にし、社会福祉の増進を図るため、ボランティアセンター事業を推進した。

(1) ボランティア登録者数

315グループ（8, 883名）、個人 66名

(2) ボランティア活動保険料の一部補助 5, 547名

(3) ボランティア養成講座（写真②、③）

|   | 講座名                  | 開始日           | 回数 | 受講者 | 定員 |
|---|----------------------|---------------|----|-----|----|
| 1 | 声で伝えるボランティア講座 ※      | 6月23日         | 5  | 10  | 10 |
| 2 | 点訳講習会                | 6月29日         | 10 | 9   | 10 |
| 3 | 手話奉仕員養成研修（基礎）        | 6月29日         | 25 | 9   | 20 |
| 4 | 手話奉仕員養成研修（入門）        | 7月2日          | 20 | 20  | 20 |
| 5 | 夏休みこども手話教室 ※         | 7月27日         | 3  | 10  | 10 |
| 6 | こどもボランティアスクール        | 7月28日         | 6  | 15  | 20 |
| 7 | 夏休みこども点字教室 ※         | 7月29日         | 3  | 10  | 10 |
| 8 | 防災ボランティアコーディネーター養成講座 | 7月31日<br>8月7日 | 2  | 14  | 20 |

※声で伝えるボランティア講座の回数は新型コロナウイルスの影響で、10回⇒5回に変更

※夏休みこども点字・手話教室の回数は新型コロナウイルスの影響で、5回⇒3回に変更

(4) 声の広報の発行

市広報 月1回、社協広報紙 年3回、保健所だより 年6回、議会だより138 年4回をカセットテープ及びCDに吹込み、視覚障害者に郵送した。

延べ人数 カセット 199名、 CD 382名

(5) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルを稲沢市において開催した。 12月18日

(6) 青少年等ボランティア福祉体験学習

実施期間 7月26日～8月27日

参加校 19校 参加生徒 96人

受入施設 20施設

(7) 家庭体験事業

施設で生活している子どもたちに、ボランティアの家族とのふれあいを通して、家庭生活を体験する機会を調整した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために実績なし。

(8) ボランティアセンター運営委員会

一宮市におけるボランティア活動推進に必要な取り組みについて協議をした。 3月24日 開催

(9) 災害時等における協力体制に関する協定

災害時等における、災害ボランティアセンターの運営や、支援活動への協力について、公益社団法人一宮青年会議所と協定を締結した。 (写真④)

(10) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

①いちのみやボランティアフェスティバル

②高齢者疑似体験インストラクター養成講座

③傾聴ボランティア養成講座

④視覚障害者ガイドヘルプ講習会

6. 共同募金配分金  
事業

(1) 高齢者福祉活動事業

①各支会が実施する敬老の日行事の費用の一部を助成した。

満75歳以上 総対象者数 56,783名

②老人クラブ連合会事業に協力し助成した。

③数え年100歳の高齢者に対し、長寿祝金を贈った。

100名

(2) 障害児・者福祉活動事業

- ①障害者団体・施設に助成した。
- ②市内における障害者スポーツ環境を整えるため検討会を開催した。

3回（11月4日、12月9日、3月1日）

- ③就学前の幼児と障害のある児童を対象にした「おもちゃ図書館」を開設し、遊びを通じて楽しいふれあいと、子育ての情報交換の場を提供した。

|      |        |        |
|------|--------|--------|
| 2カ所  | 延べ利用人数 | 1,645名 |
| (内訳) | おもちゃの城 | 780名   |
|      | なかよし   | 865名   |

(3) 児童・青少年福祉活動事業

- ①児童・生徒の福祉善行精神を高揚するため、小・中学校の児童生徒の表彰を実施した。 62名

※1月31日の表彰式は中止

- ②福祉推進校に協力及び助成した。 66校

- ③子ども会等各事業に助成した。

- ④児童養護施設・母子生活支援施設入所世帯に歳末訪問を実施した。

|       |     |      |
|-------|-----|------|
| お年玉訪問 | 4施設 | 114名 |
|-------|-----|------|

(4) 福祉育成・援助活動事業

- ①生活困窮者等に法外扶助給付を実施 2件

- ②行路者に市生活福祉課を通じ移送費を支給した。 4件

- ③生活保護世帯の保育園児に給食費の一部を支給した。

延べ人数 371名

- ④生活保護世帯の児童・生徒の修学旅行費の一部を支給した。

小学校 13名、中学校 14名

- ⑤母子育成事業等に協力し助成した。

- ⑥社協広報紙「いちのみやの社会福祉」を年3回発行し、本会の活動及び実施事業全般についての啓発に努めた。

6・10・2月号 各144,000部（全戸配布）

- ⑦福祉のまちづくり運動を推進した。

市民の福祉への関心を高めるため福祉七夕笹を尾西庁舎玄関前へ飾った。

6月27日～7月9日

- ⑧ふれあい・いきいきサロン活動に援助、協力した。

・運営費補助 69サロン

- ・立上げ時物品購入補助 1サロン
- ・ふれあい・いきいきサロンリーダー交流会の開催  
12月24日 32名 (※おでかけ広場と合同開催)  
3月9日 23名 (写真⑤・⑥)

・出張サロン 実績なし

⑨美容ボランティアによるヘアカットを実施した。(写真⑦)

6月28日 尾西支部 利用者数 14名

11月29日 尾西支部 利用者数 11名

(5) ボランティア活動育成事業

①地区ボランティア活動推進に助成した。 23支会

②登録ボランティアグループの活動の振興を図るため、助成した。 48団体

(6) 歳末たすけあい配分金事業

満70歳以上のひとり暮らし高齢者に民生児童委員の協力を得て、歳末訪問品を贈り見守り活動を行った。

また、「いちみんキット(緊急医療情報キット)」を未配付の対象者に、緊急時の備えとして併せて配付した。

12月 5, 157名

(7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

①こども盲導犬教室

②福祉実践教室

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令期間中は開催中止とした。中止となった学校から希望があった場合は体験用具の貸出等を行った。

実施数 32校 用具貸出等 7校

③福祉作品展(びさいまつり同時開催)における福祉団体・ボランティア団体の手作り作品の展示即売

## 7. 資金貸付事業

民生児童委員との連携を図り低所得者等の自立の援助に努めた。

(1) 県社会福祉協議会の生活福祉資金申請受付代行

①福祉費

申請受付 4件

(4件 4, 689, 000円が貸付決定)

②教育支援資金

申請受付 6件

(6件 19, 042, 000円が貸付決定)

③臨時特例つなぎ資金

申請受付 1件

(1件 30,000円が貸付決定)

④不動産担保型生活資金

実績なし

⑤緊急小口資金【通常】

申請受付 14件

(14件 380,000円が貸付決定)

⑥総合支援資金【通常】

実績なし

⑦緊急小口資金【特例貸付】

申請受付 852件

(825件 158,210,000円が貸付決定)

⑧総合支援資金【特例貸付：新規・延長（R3.6.30まで）・  
再貸付（R3.12.31まで）】

申請受付 1,329件

(1,371件 748,287,000円が貸付決定)

(2)生活資金

実績なし

(3)福祉金庫

貸付件数 3件 53,000円

(4)くらし資金

実績なし

8. 居宅介護等事業

訪問介護員が介護保険法及び障害者総合支援法に基づく、居宅介護サービスの提供及び市から受託した育児支援事業を実施した。

(1) 指定訪問介護事業 (介護保険事業)

サービス提供回数 延べ 24,853回

(2) 指定居宅介護事業 (障害福祉サービス事業)

サービス提供回数 延べ 24,200回

(3) 移動支援事業

サービス提供回数 延べ 1,866回

(4) 育児支援家庭訪問事業

サービス提供回数 延べ 344回

9. 居宅介護支援事業

介護支援専門員が介護保険法に基づく、居宅介護支援及びあんしん介護予防事業における介護予防ケアマネジメントを行った。

|                    |    |        |
|--------------------|----|--------|
| (1) 介護認定調査件数       | 延べ | 105件   |
| (2) 要介護ケアプラン作成件数   | 延べ | 2,405件 |
| (3) 介護予防ケアプラン作成件数  | 延べ | 1,013件 |
| (4) 事業対象者ケアプラン作成件数 | 延べ | 132件   |

#### 10. 相談支援事業

相談支援専門員が障害児・者及びその家族等からの相談に応じ、問題解決に取り組んだ。また、契約に基づき「サービス等利用計画の作成」・「モニタリングの実施」を行った。

|             |    |         |
|-------------|----|---------|
| (1) 相談支援回数  | 延べ | 18,671回 |
| (2) 計画等作成件数 | 延べ | 1,087件  |

#### 11. 福祉サービス 利用援助事業

県社協からの受託事業として自らの判断で適切な福祉サービスを受けることが困難な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるように福祉サービスの利用援助を行った。

|           |     |
|-----------|-----|
| 利用者数      | 94名 |
| うち 新規契約者数 | 13名 |
| 解約者数      | 6名  |

#### 12. 市受託事業

##### (1) 生活支援体制整備事業

①地域において多様な支え合いの仕組みを構築するため、第1層（全市域）生活支援コーディネーターとして各種団体の連携強化を図った。

②第2層（連区域）生活支援コーディネーターと連携を図り、必要に応じて地域分析や必要な施策を検討し地域住民と情報を共有した。

③本事業を推進するため、2連区（丹陽連区・木曾川連区）をモデル地区に選定し、地域支え合い研修の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

④住民相互の助け合いによる会員制の生活支援サービス「ちょこボラサービス」を実施した。

|          |            |
|----------|------------|
| 利用会員     | 402名       |
| 協力会員     | 122名       |
| サービス提供時間 | 延べ 917.9時間 |

(写真⑦)

⑤支え合い活動を担う人材を養成するため、「誰でもできる！支え合いボランティア講座」を開催した。(写真⑧)

7月9日・16日 受講者 4名

(2) 視覚障害者パソコン教室事業

目の不自由な方を対象に、パソコン教室を開催した。

対象者(視覚障害者1・2級) 受講者 6名

講習延べ40回開催 フォローアップ延べ12回開催

(写真⑨)

(3) 子どもに対する学習・生活支援事業

市内3ヶ所において、高等学校等への進学を目指す中学生を対象に、学習・生活支援を行った。

開催期間：令和3年9月から令和4年3月

開催日：月2回(土曜日の午前中)全13回

利用者：64名(写真⑩)

※9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

13. 基金運営事業

基金の適正な運用に努めた。その利息及び寄付金(市民福祉)をひとり暮らし高齢者とのふれあい事業等に活用した。

< 収益事業内容 >

1. 自動販売機設置事業

一宮市立市民病院等に飲料自動販売機を設置し、来所者の利便を図り、その収益の一部を本会の貴重な財源として充当した。

手数料収入 1,649,565円

< 文書公開の実施状況 >

申出件数 1件